

庁舎建替えに関する Q&A

(第3回)

庁舎建替えに関する質問にお答えします。

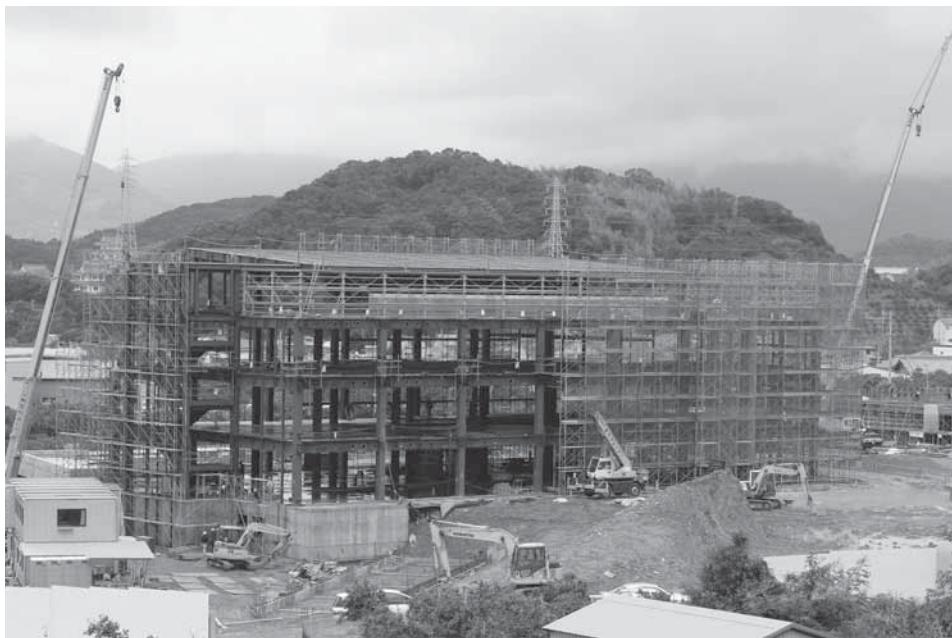


今年4月の新庁舎建設着工から約6ヶ月が経過しました。
現在の工事進捗状況等についてお知らせします。

Q₁

工事の進捗状況は?

本体部分の基礎工事は6月末に工程が終了し、その後、建物の鉄骨工事を行ってきました。建物全体の鉄骨が組み立てられ、建物の規模が分かるようになってきました。



Q₂

庁舎建替えにかかる基本的な考え方とは?

町民を守るための安心・安全な新庁舎

町民に親しまれる新庁舎

経済的な新庁舎

湯浅町新庁舎建設基本計画の3つの考え方を基に事業を進めてきました。今回は「町民に親しまれる新庁舎」についてご紹介します。現庁舎は、執務スペースが不足しており、元県事務所を第二庁舎として活用し、スペースの確保を図ってきましたが、併用の結果、庁舎機能が分散し、町民にとっての利便性が損なわれている状況にあります。

そのため、新庁舎では窓口機能を1階のフロア内に配置することで、来庁者の負担が少なく済む配置とし、各課には車いすの方や高齢者の方が利用しやすい高さのカウンターを設置します。上下階への移動が容易に行えるようエレベータを設置、各階にはオストメイト対応多目的トイレを設置します。また、案内表示等の表示方法や色等を工夫し、誰もが利用しやすい庁舎とします。さらに、3階には議場兼多目的ホールを設置し、災害時の避難場所等に利用できます。その他、現在行われている会議や受付情報などを来庁舎の方が一目で確認できるようロビーに大型モニターを設置します。また、駐車場は約170台の駐車スペースを確保します。現庁舎の問題点を解消し、これらの機能を持った「町民に親しまれる新庁舎」を目指します。

